

気候変動対策の国内外の動向と今後を考える

－ コロナ禍の影響とゼロエミッション化に向けた留意点 －

主催：北陸環境共生会議

開催日時 令和3年2月24日(水) 14:00～15:40

場所 福井商工会議所 コンベンションホール
住所: 福井市西木田 2-8-1



対象 企業・団体・自治体に所属する方

開催方法 会場でのリアル開催のほか、オンライン同時配信

*オンライン配信…Microsoft Teams ライブイベント機能を使用。

Webブラウザ上で視聴可能で、アプリをインストールする必要はありません。

配信動画に関しましては、転送、録画、撮影や保存は禁止とさせていただきます。

 **参加無料** 
会場定員 30名
オンライン配信 定員 30名
申込締切 2月12日(金)

昨今の気候変動は地球温暖化が誘因と言われ、自然災害の頻発や生態系の変化など多方面に影響を及ぼしています。政府が「2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする」と宣言するなど、世界的に脱炭素社会の実現に向けて対策が求められています。新型コロナウイルスの感染拡大により、従来の経済活動が抑制される今、脱炭素社会の実現にはどのような課題があるのか、一般財団法人日本エネルギー経済研究所 理事 電力・新エネルギーユニット担任 工藤拓毅氏をお招きし、地域の施策の方向性について考えます。

【講師紹介】

工藤拓毅氏

一般財団法人日本エネルギー経済研究所 理事 電力・新エネルギーユニット担任

1991年4月:(財)日本エネルギー経済研究所(IEEJ)入所

専門分野:エネルギー需給分析・予測、地球温暖化政策

新・再生可能エネルギー政策、省エネルギー政策

温室効果ガスインベントリ・検証等の国際標準化

<プロフィールより一部抜粋>

・平成28年度工業標準化事業表彰・産業技術環境局長表彰(国際標準化貢献者表彰)

・環境省、地球温暖化対策の推進に関する制度検討会委員

・NEDO 地球温暖化対策技術普及展開事業(事後評価)分科会委員

環境省・経産省等の政府委員会への参画や、多くの大学で講師を務める。地球温暖化政策・グリーンエネルギー等をテーマとした論文発表、地方自治体や学会等で多数の講演を行う。

北陸環境共生会議

北陸地域に共通、横断する環境問題に対し、北陸三県及び北陸の企業が協力して取り組むことを目的として、設立された組織

構成: 富山県、石川県、福井県、北陸経済連合会

協力: 北陸電力(株)



https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=HSBmodsZx0W4KBgdPCim9D1-Xe7byVNpol3f8ZZ_3BU0EhCVFg0R1hJWdDdB

【申込方法1】

【申込方法2】

申込方法 申込専用フォームから各項目をご入力ください。

【申込方法1】スマートフォンから

→【申込方法1】QRコードを読み込み、専用フォームへアクセス

【申込方法2】PCから

→北陸経済連合会HP(<http://www.hokkeiren.gr.jp/>)

→新着情報「北陸環境共生会議勉強会」

→案内文中、【申込方法2】URLのリンクが有効になっています。

URLをクリックし専用フォームにアクセス

※ご入力いただいた情報は、当勉強会に係る運営にのみ利用させていただきます。

問合せ先 北陸経済連合会・森岡 Tel076-232-0472 mail:kankyo@hokkeiren.gr.jp (受信専用)